

評価基準等一覧

項 目	提 案 内 容	評価のポイント
(1) 業務体制について	①業務管理者の経歴及び能力	・業務管理者の経歴及び能力に評価できるものがあるか。
	②業務従事者の配置及び人数	・現実的な配置及び人数となっているか ・実施内容に対し適切な配置及び人数か
	③業務従事者の人選基準と人員の安定確保の手法について	・業務従事者の人選基準が本市が求める従事者にふさわしいものか。 ・人員は安定して確保できるかどうか。 ・仙台市民からの雇用確保に配慮しているか。
(2) 業務内容について	①より効果的な文書催告の手法について	・公権力行使に当たらない範囲でどの程度効果的な催告業務が可能か
	②より効果的な電話催告の手法について	・公権力行使に当たらない範囲でどの程度効果的な催告業務が可能か
	③より効果的なショートメッセージの活用方法について	・公権力行使に当たらない範囲でどの程度効果的な催告業務が可能か
	④より効果的な訪問催告の活用方法について	・公権力行使に当たらない範囲でどの程度効果的な催告業務が可能か
	⑤より効率的な財産調査業務の手法について	・財産調査に係る膨大な照会及び回答件数を処理するにあたって、より効率的な業務が可能か
	⑥提案者が本業務に関し、コンサルティングできる内容について	・コンサルティングできる内容が本市にとって具体的であるかどうか、内容的に優れているかどうか
	⑦業務従事者に対する研修計画について	・研修内容が本市の仕様を満たす十分なものか。また、研修計画は従事者の資質向上につながるものかどうか
	⑧苦情等の未然防止策及び苦情発生時の対応策について	・業務従事者に対する研修内容及びマニュアルの記載内容が苦情発生時の未然防止及び苦情対応に関して適切なものかどうか
(3) システム機能要件に関する充足について	別紙システム要件チェックリストの回答状況	・対応可能な回答数
(4) 個人情報保護等について	①業務従事者に対する周知徹底の方法	・個人情報の取扱いについて何によって業務従事者に周知徹底を図っているか
	②過去の個人情報流出事故の発生の有無、有の場合は再発防止策を含めた事故後の具体的対応	・流出事故の有無
(5) 地方公共団体の実績について	地方公共団体において国保料又は市税等公債権にかかる催告業務の実績を有すること	・実績（地方公共団体の規模、請け負った地方公共団体の数）
(6) 経費見積	相対評価とする。	